

山崎真実^{a,*}, 加賀谷仁左衛門^b, 木村益己^c: ホザキヤドリギ (オオバヤドリギ科) を北海道から初めて記録する

^a札幌市博物館活動センター

^bNPO 法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会

^cNPO 法人地域自然活動センター森・水・人ネット

Mami YAMAZAKI^{a,*}, Nizaemon KAGAYA^b and Masumi KIMURA^c: The First Record of *Loranthus tanakae* (*Loranthaceae*) from Hokkaido, Japan

^aSapporo Museum Activity Center, 5-15-1-6, Hiragishi, Toyohira-ku, Sapporo, Hokkaido, 062-0935 JAPAN;

^bFriends of Around Toya Caldera and Usu Volcano Global Geo-park,

287-286, Takino-machi, Sobetsu-cho, Usu-gun, Hokkaido, 052-0101 JAPAN;

^cNon-Profit Organization Local Natural Activity Center Mori-Mizu-Hito Net,

84-3, Inui-cho, Date, Hokkaido, 052-0002 JAPAN

*Corresponding author: mami.yamazaki@city.sapporo.jp

(Accepted on March 23, 2020)

Summary: *Loranthus tanakae* Franch. & Sav. (*Loranthaceae*) is recorded from Hokkaido, Japan for the first time. This new locality was found in deciduous broad-leaved forest at Sōbetsu-cho, along the south shore of Lake Tōya, southwest Hokkaido. The individuals were parasitic to only a single tree of *Ulmus davidiana* Planch. var. *japonica* (Rehder)

Nakai. The discovery of this new locality revealed the new northern limit of its distribution in Japan.

ホザキヤドリギ *Loranthus tanakae* Franch. & Sav. (= *Hyphear tanakae* (Franch. & Sav.) Hosok.) (オオバヤドリギ科) は落葉広葉樹に半寄生する

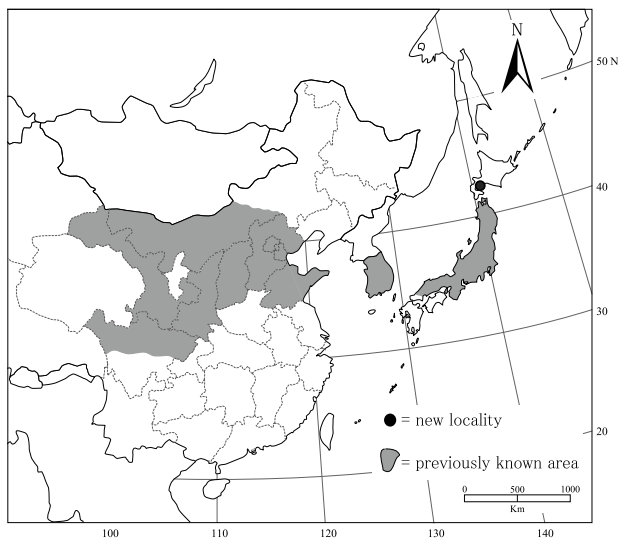


Fig. 1. Distribution map of *Loranthus tanakae* based on Qiu and Michael (2003) and Ohba (2006).

果、毎年の開花・結実を確認できたことから定着していると判断した。

宿主であるハルニレ *Ulmus davidiana* Planch. var. *japonica* (Rehder) Nakai は胸高直径約 40 cm、樹高約 10 m の高木で、ホザキヤドリギは同一の宿主に複数個体が寄生していた。球状に枝を広げた植物体サイズは最大で直径約 50 cm で、地上から高さ約 10 m の位置に寄生していた。これより下の位置には、植物体サイズが小さな 7 個体ほどが点々と確認できた。ホザキヤドリギとヤドリギは混生することが知られ (大和ら 1998)、今回ホザキヤドリギを確認したハルニレにも様々な個体サイズのヤドリギが多数寄生していた。

生育環境は洞爺湖湖畔沿いに帯状に連続する落葉広葉樹林であり、ホザキヤドリギが寄生する枝は樹冠の南側で、湖畔沿いの車道の上に張り出しているため、開けた環境で日当たりと風通しがよい。一方、ヤドリギは樹冠の北側となる湖側に多く寄生していた。この点は、大和ら (1998) が指摘している「ヤドリギに比べるとホザキヤドリギのほうが強光を受け成長がより速く、より細い枝でも寄生できる可能性が高い」こととも合致する。

周辺にもホザキヤドリギが生育している可能性を想定し、樹上の植物を視認しやすい冬季から早春を選び 2015 年から 2019 年まで複数回にわたって洞爺湖を一周する車道沿いに探索したが、ホザキヤドリギを確認できたのは上記のハルニレ 1 本のみだった。また、ホザキヤドリギは冬季も果実が枝に残り (Fig. 2C, D)、ヤドリギ同様に、ヒレンジャク *Bombycilla japonica* やキレンジャク *B. garrulus* が果実を採食し排泄することが確認されている (吉田ら 2001)。上記 2 種の鳥はいずれも冬季に日本全国に飛来する渡り鳥で、ヒレンジャクは沿海州から中国東部などユーラシア大陸極東地域で繁殖し、日本 (主に西日本) から朝鮮半島や中国南東部で越冬、キレンジャクは北半球の亜寒帯地域で繁殖し、日本 (主に本州中部以北) で越冬するとされる (河井ら 2013, 大橋 2013, 河井 2019)。これらのことから、ホザキヤドリギの種子散布に鳥類が寄与していることが考えられる。

これまで国内におけるホザキヤドリギの確実な記録は最北で青森県であり (青森営林局・秋田営林局 1997)、本報告により本種の国内の北限が津軽海峡を越えて北上したことになり、世界的に見ても分布の最北限といえる (Fig. 1)。

Loranthus tanakae Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap. 2: 482 (1878); Franch. in Bull. Soc. Bot. France 43: 188 (1896). – *Hyphear tanakae* (Franch. & Sav.) Hosok. in J. Jap. Bot. 12: 418 (1936).

Voucher specimen: JAPAN. Hokkaido. Sōbetsu-cho, southeast bank of Lake Tōya, 26 May 2015, N. Kagaya s.n. (Sapporo Museum Activity Center 11007; Fig. 3). New to the Flora of Hokkaido.

現地の情報をいただいた在田一則博士、標本調査でお世話になった高橋英樹博士、東 隆行博士、首藤光太郎博士、多くのご助言と情報提供を頂いた査読者様に感謝申し上げます。

摘要

北海道においてホザキヤドリギ *Loranthus tanakae* Franch. & Sav. (オオバヤドリギ科) を初めて記録した。生育地は北海道南西部胆振地方の洞爺湖湖畔の落葉広葉樹林で、ハルニレに複数個体が寄生し、2015 年から毎年開花・結実が確認されたことから定着していると判断した。本報告によりホザキヤドリギの国内分布が津軽海峡を越えて北上した。

References 引用文献

- Aomori regional forestry office and Akita regional forestry office 1997. Trees of Tohoku. Japan Forest Technology Association, Tokyo (in Japanese). 青森営林局, 秋田営林局 (編) 1997. 東北の樹木誌. 社団法人日本林業技術協会, 東京.
- Gifu Prefectural Government 2013. The List of threatened wildlife of Gifu (Plants part), revised edition. <https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenhogo/> [9 Dec. 2019 accessed] (in Japanese). 岐阜県 2013. 岐阜県レッドリスト (植物編) 改訂版, 岐阜.
- Hosoi K. 2018. New catalogue of vascular plants in Aomori 2018. The Shirakami research center for environmental sciences, Hirosaki University, Hirosaki (in Japanese). 細井幸兵衛 2018. 新青森県植物目録. 弘前大学白神自然環境研究所, 弘前.
- Hosokawa T. 1936. Nomenclatural notes on *Loranthoideae* occurring on the Japanese Empire. J. Jap. Bot. 12: 417–421 (in Japanese). 細川隆英 1936. 日本版図内ノまつぐみ亜科. 植物研究雑誌 12: 417–421.
- Hyogo Prefectural Government 2011. The List of threatened wildlife of Hyogo 2010 (Plant species and Plant population). <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/environment/> [9 Dec. 2019 accessed] (in Japanese). 兵庫県 2011. 兵庫県版レッドリスト 2010